

微助っ人

レタ — 29

発足 25 周年を迎えて

京都微助っ人研究会は 1994 (平成 6) 年 5 月 17 日に京都府主催の「ライフプランナー養成セミナー」修了者を中心に、民間企業のライフプランナー 交流会として設立されました。会の名称「微助っ人(びすけっと)」は株式会社 ワコールの創業者である塚本幸一さんから命名いただきました。そして、2019 (令和元) 年 5 月で発足 25 周年を迎えます。発足当初は勤労者のライフプランづくりの指導・援助をテーマに活動を進めてきましたが、次第に企業等が直面する 人事・労務に関する課題やテーマについて、下記の会の位置付けにありますように「企業の悩みを共有し、会員の皆さんと課題解決に向けて取組む場」という性格を強めながら現在に至っています。また、課題解決に向

けてみんなで考えることで、会員の皆さんにとっても貴重な情報交換の場となっていると思っています。このように、会の内容は変わりつつありますが、設立趣意書の一節にある「一人ひとりの従業員が自分の生き方を考える中で「働く」ことの本当の意味に気付き、自分に目覚め、自分の持てる能力を精一杯生かして、今からの人生を生きがいをもって歩めるように、これを援助する」を忘れず、従業員一人一人の幸福実現のために活動していきたいと思います。会員の皆様も積極的なご参加をお願いします。また、参加いただいたてこの会を気に入っています。また、参加いただいたてこの会を気に入っています。また、参加いただいたてこの会を気に入っています。

今年の微助っ人研究会はこんなことに「挑戦」します

【会の位置付け】企業の悩みを共有し、解決に向けてみんなで考える会

【メインテーマ】社員の成長が会社の発展につながるように

【サブテーマ】社員の成長のための道筋を共に考える

【キャッチフレーズ】社員ひとり一人が「幸せに働く」環境と、「気づき」から行動を促すフォローメリット作りをめざして！

例年通り、年 4 回の例会を開催します。

総会、春の例会 : 個人を生かすために組織はどうあるべきかを考える。

夏の例会 : 働き方改革 その 1 育児と仕事、家庭の両立をはかるために

秋の例会 : 働き方改革 その 2 時間、場所に縛られない働き方をさぐる

冬の例会 : 人手不足解消へのシナリオ (第 2 弾)

京都経営品質協議会との共同開催を予定

入会希望の方は 研究会専用メール BOX post@kyoto-bisuketto.com

まで E メールでご連絡ください。



2018年度活動報告

総会・春の例会(2018年5月25日開催)



総会と一緒に開催された春の例会では、業務の中でその重要度が増している「聴く力」について、日本傾聴能力開発協会 (JKDA) 代表理事の岩松正史氏を講師としてお招きし、「傾聴」とはどのようなものか、聴き方のポイントについてお話をいただきました。途中では、参加者同士で実際にお互いの話を傾聴してみることで、「傾聴」の一端を知ることができました。

会場としてお借りしたワコールスタディホール京都 (WACOAL STUDYHALL KYOTO) は京都駅前に2016年にオープンされた施設です。講演会終了後、スタディホールを見学。選び抜かれた本が陳列された図書閲覧スペースなど、斬新なつくりに驚くとともに、ワコール様が大切に育まれている「心の豊かさ・感性」を感じました。

夏の例会(2018年8月21日開催)



加盟各社も取り組んでいるところが多い「障害者の雇用のあり方」について、最先端を走る企業が京都にあります。オムロン (株) の関連会社、オムロン太陽株式会社様です。見学訪問では、会社設立の歴史や、障害者雇用についての考え方とその取り組みを伺いました。働く方々ができる限り多くの作業ができるよう作業用の設備を創意工夫するとともに、その処遇についてはできる限り健常者と同じように査定もして取り組んでおられることにとても感動しました。「われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう」という素晴らしい社憲 (社是にあたる) をオムロン様はお持ちですが、この企業理念をオムロン太陽株式会社でも愚直に実現しようとされている姿勢に大いに学び得る機会となりました。



秋の例会（2018年10月3日開催）



私たちがいつも食べている卵を洗浄、選別、包装システムで国内トップシェアの株式会社ナベル様を訪問しました。「卵を生で食べる文化は日本にしか存在しない」ということにも驚きましたが、生で卵を食せるのは、ナベルの厳密検査機器のおかげだと知りました。きめ細やかな配慮や姿勢は、採用面接や職場環境の場面でも活かされており、採用ポイントは、ノウハウを蓄積したうえで基準を明確化。人による面接と併用したAI技術の採用等、最新の取り組み事例を紹介くださいました。模擬面接も実施され、誘導型の質問を防ぐ確認事項も体験しながら「経験は人を作るもの」だと感心しました。また工場見学で参加者の注目を集めたのは食堂に併設されたバー。そこでは社員がお酒も飲めるということで、参加者の多くが羨ましがっていました。

さらに今回は、初の試みとしてナベル様からご提案頂いたグループディスカッションテーマ「魅力ある会社、そして管理職のあり方とは」について意見交換しました。その中では、「福利厚生などの整備が備わっていて、居心地がいい会社」という声や、「企業としての理念が基盤として根付き、その基盤で挑戦できる機会が多い会社」なども挙がりました。そして「京都の有名企業には理念を大事にしている会社が多い」という的を射た指摘もあり、共感することが多いディスカッションの場となりました。

冬の例会（2019年2月13日開催）



経営品質向上活動の推進に取り組んでおられる京都経営品質協議会さんとの共同開催として実現した冬の例会は、「働き方改革」をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネラーとして人事労務担当、従業員代表、経営者代表の方々からそれぞれの立場での働き方改革の実施状況、改革をすすめていく上で困っていることの紹介から、意見交換を行いました。「働き方改革」と言っても、業務改善、人材活用、人材確保など、視点が多岐に及びますが、パネラーの立場に応じた問題意識の提起がされました。

その後、グループに分かれて討議を行いましたが、グループの討議では、企業の規模や事業内容、事業の特性により、「働き方改革」がさらに多様な議論となっていくのが実感でてきたように思います。課題をしっかりと整理して議論する内容を絞って対策を検討することが成果を上げていくのには重要ではないかと感じた例会でした。

働き方改革推進のために使える助成制度のお知らせ

各都道府県の労働局では、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援することで労働者の待遇改善をはかり、長時間労働を是正するための助成金制度を設けています。

- 「業務改善助成金」制度 : 「事業場内最低賃金（事業場内で最も低い賃金）」の引き上げを図る。
- 「時間外労働等改善助成金」 : 時間外労働の上限規制に対応するため、生産性を高めながら働く時間の縮減取り組み中小事業者や傘下企業を支援する事業主団体に助成を行う
- 「両立支援等助成金」 : 以下のコースがあります
- 育児休業等支援コース
 - 介護離職防止支援コース
 - 事業所内保育施設コース
 - 出生時両立支援コース
 - 再雇用者評価待遇コース（カムバック支援助成金）
 - 女性活躍加速化コース

労働時間の短縮、非正規社員の待遇改善、労働関係助成金の活用など、働き方改革の実現に向けて、特に中小企業・小規模事業者の方々が抱える様々な課題に対応するため、ワンストップ無料相談窓口として京都働き方改革推進支援センターが開設されました（2019年4月5日開設） 詳しくは <http://langate.co.jp/hk26/> をご覧ください。

微助っ人コラム ~発足以来、取り組んできたことを紹介します~

年度	取り組み内容	年度	取り組み内容
1994(平成6)	ライフアップセミナー ※自社だけでは実施が大変な企業が集まって、セミナーを共同で実施	2004(平成16) 2005(平成17)	キャリアデザイン研修（自分の仕事と人生をどう進めていくのか主体的に考える）
1995(平成7)	いきいきライフアップセミナー ※50歳代の人を対象に生涯経済プラン作り	2006(平成18)	2007年問題：高齢者雇用
1996(平成8)	輝けミドル！チャレンジセミナー ※ミドル層に今後の人生設計のイメージを描く機会として実施	2007(平成19)	人材の確保と育成
1997(平成9)	輝けミドル！チャレンジセミナー いきいきライフアップセミナー	2008(平成20) 2013(平成25)	ワーク・ライフ・バランス キャリア＆ライフプランニングの実践（2011年度サブテーマ） ライフプランの中のリスクマネジメント～（介護・メンタル・パワハラ等のケースを踏まえて）（2013年度サブテーマ）
1998(平成10)	テーマ別（健康・経済・生きがい）の分科会を開催	2014(平成26)	仕事と介護の両立を進めるにあたって
1999(平成11)	シニア活き活き講座2000（50代の会員企業の社員とその配偶者+企業の人事・労務・ライフプラン担当者（年齢不問） 分科会ごとに学習会	2015(平成27)	分科会活動 ①ダイバーシティ（女性活躍・若年者定着支援） ②継続雇用制度（再雇用契約） ③新しい福利厚生制度
2000(平成12)	シニア活き活き講座2001	2016(平成28)	分科会活動 ①女性活躍支援 ②若年者定着支援 ③中高年齢者継続支援
2001(平成13)	人生活き活き講座（「自分探し」に役立つセミナー）	2017(平成29)	分科会活動 いずれの分科会も、社員教育の必要性を感じたことから、社員教育に焦点をあて、全体での活動とした。
2002(平成14)	ライフプランナー養成セミナー（企業の人事・労務・ライフプラン担当者（年齢不問）	2018(平成30)	本誌P2,3ページ参照

新入会員募集中

そんな高い会費は出せないけど、他社の動向などの情報を知りたいとお考えの方、ぜひ入会をご検討ください。

年会費 企業会員（1企業・団体2名まで参加可能）年額 6,000円

個人会員 年額 3,000円

特別会員 年会費は任意

年度途中の入会は会則による金額となります。

入会、見学をご希望の方はその旨を記入した E-mail を
post@kyoto-bisuketto.com まで送信ください。追ってご連絡を
差し上げます。お会いできるのを楽しみにしております。

編集後記

「太陽は夜が明けるのを待って昇るのではない。太陽が昇るから夜が明けるのだ」
太陽のような皆様と令和も共に成長できますように。（くらちゃん）
編集中に平成から令和に変わりました。平和がずっと
続いてくれることを心から祈るばかりです。（おくちん）

微助っ人 LETTER 第29号

2019（令和元）年5月23日発行

企画・編集・発行 京都微助っ人研究会

<http://kyoto-bisuketto.com/>

E-mail post@kyoto-bisuketto.com